

会 議 要 旨

会 議 名	令和6年度第3回東金市子ども・子育て会議
日 時	令和6年12月23日（月）午後1時30分～午後2時
場 所	東金市役所 第1委員会室
出 席 者	委員12名 広瀬委員、宮沢委員、高橋委員、小川委員、渡邊委員、土肥委員 今野委員、萩原委員、佐伯委員、小嶋委員、小林委員、小高委員
事 務 局	【市民福祉部】 緋田市民福祉部長 （こども課）石田課長、樋屋副課長兼入園係長、深澤副主幹兼運営係長 吉野こども係長 （子育て支援課）矢野課長、丸山副課長兼児童家庭係長 （健康増進課）矢崎課長、内山母子保健係長 【教育部】 （学校教育課）石原課長、北山学童クラブ係長
次 第	1. 開 会 2. 議 題 （1）第3期東金市子ども・子育て支援事業計画（原案）について 3. そ の 他 4. 閉 会
1. 開 会	広瀬会長、市民福祉部長のあいさつの後、事務局より新任委員1名の紹介を行った。
2. 議 題 事務局	※事務局より 議題(1)「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画（原案）について」を説明。 資料「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画 原案」
会 長	事務局より説明があった件について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしく願いいたします。
委 員	全体的に、市民のニーズを満たす形でご検討いただいているということで、それについて安心しています。 一方で、東金市の現在のニーズは満たしているとしても、今後の社会情勢の変化に対応していくことを考える必要があります。周辺市町村と子育てサービスを比較した表を作ってみて、他市町村に負けている部分があれば補ってほしいです。それによって、子育て世代が東金市に流れてくるようになり、人口が増加するように期待もできます。また、前回の会議での意見で、他市町村の園の給与が高いから、職員が流れてしまう、というものがありました。こちらも比較表を作ってみて、他市町村より東金の給与が安いなら、給与を上げて職員を呼び込めるようにする等、戦略的に東金市に子育て人口を呼び込むことをお願いします。

事務局 事務局 委 員 事務局 会 長 会 長	また、先般、国の令和6年度の補正予算が発表されました。子ども・子育て施策として、新たな取組みがうたわれているところですので、令和8年度に予定されている取組みも含め、国の補助金の活用も考えてもらいたいです。 他市町村との比較表については、他市町村の子育て施策の状況は私どもも知らないといけないことですので、まずは作ってみようかと思います。この計画への落とし込みは難しいと思いますので、比較表を作ったうえで、戦略的によいとなれば、積極的に公表することで、東金市にどんどん来てもらえればいいと思います。 国の補正予算について、追加予算ということで子育てに関係するものも提示されましたが、東金市の対応としては、市民生活と地域経済の発展に向けてクーポン事業を行うことが、先般の12月議会で可決されております。今後も国から子育て施策に関する補助事業が示されてくると思いますので、私どもも注視しながら、適宜その実現に向けて取り組んでいきます。 35ページの学童クラブ事業についてですが、近隣市の学童クラブ事業で高学年の受け入れが難しいという話があります。私の園で働いている職員が子どもを学童クラブに預けられず、仕事の存続も含めて非常に困っています。高学年の受け入れを東金市は続けていただければありがたいです。慎重にご検討いただければと思います。 東金市の学童クラブ事業は、現状6年生まで受け入れておりますが、来年度も同じ形で対応をしていきます。計画には「人数に応じた効果的な運営を検討していきます」と記載していますが、学区によって人数の増減がありますので、職員の調整も含めた形でこのような表現をさせていただいております。基本的には今まで通り、高学年も受け入れる形で進めてまいります 他に質問が無いようでしたら、本案をもって計画案としてよろしいでしょうか。 《意見なし》 これで議題については以上となります。
3. その他 会 長 委 員	全体に対してご質問ありますか。 ニーズ調査の概要を見ていると、令和5年度と平成30年度の結果を載せていただいているのですが、小学生の保護者の分母はあまり変わっていないのですが、就学前児

事務局 会 長 事務局	童の保護者の分母がかなり減少しています。法律に基づいてやっているのですが、今後もニーズ調査は行われていくと思いますが、調査の分母が変わると、割合で出した時に、正しく検証ができるのか気になります。今後、ニーズ調査をする際は、回収率を上げるということも考えていただけると、より市民ニーズも拾えるのではと感じました。 就学前児童保護者については全世帯を対象としています。そもそも子どもの数や世帯数が減っているところもありますが、回収率が減っていることは反省点と考えています。WEB調査の併用や、リマインドはがきを送るなど、方策は検討中ではあります。ニーズ調査の回収率を上げることについては、課題として認識をしています。 その他についても以上となります。最後に事務局からお願いします。 今後の予定について説明をさせていただきます。パブリックコメントを予定しておりまして、来年1月半ばから2月ごろを予定しています。その中で、計画について委員のみなさまにお諮りするような意見が出た場合は、本会議を3月ごろに開催させていただく可能性もありますが、特に意見がなければ、最終的に字句の修正をさせていただき、3月末までに計画を確定させていただくこととします。その後、準備が整い次第、皆様方に郵送させていただく予定となります。
4. 閉 会	以上で本日の会議は終了とさせていただきます。 お疲れ様でございました。